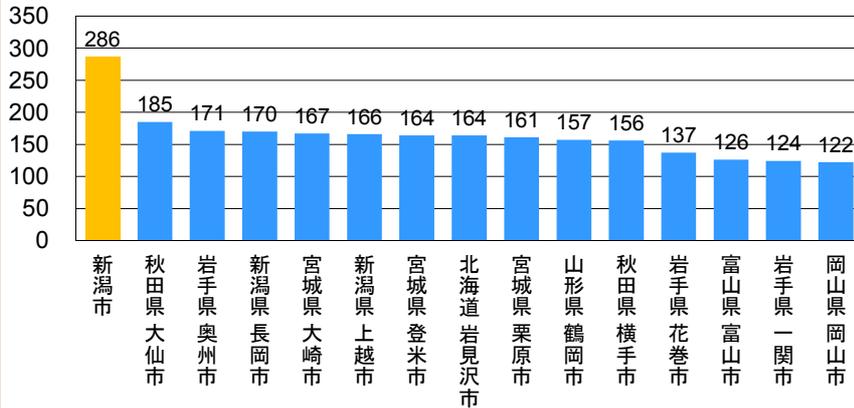


### 13. 農業



#### 本市の水田耕地面積(他都市比較)

(単位:百ha) 資料:耕地面積統計調査(H24)



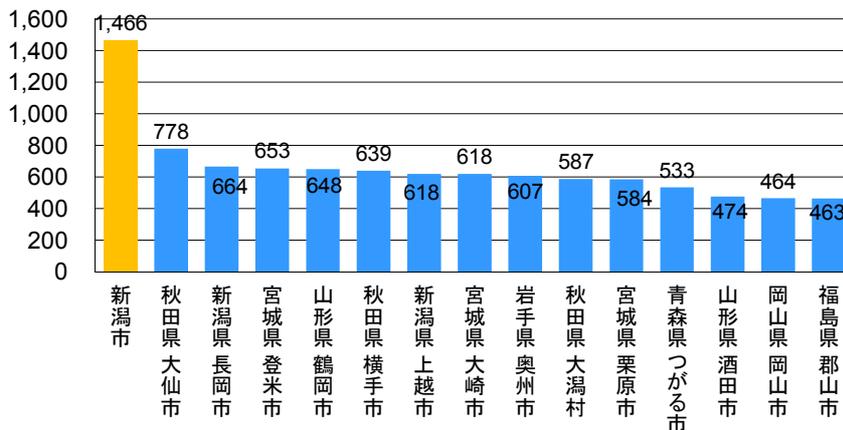
本市の田の耕地面積は28,600haで、全国の市町村中第1位となっている。第2位は秋田県大仙市の18,500ha、第3位は岩手県奥州市で17,100ha、第4位は新潟県長岡市で17,000haと続いている。

### 13. 農業



#### 本市の水稻収穫量(他都市比較)

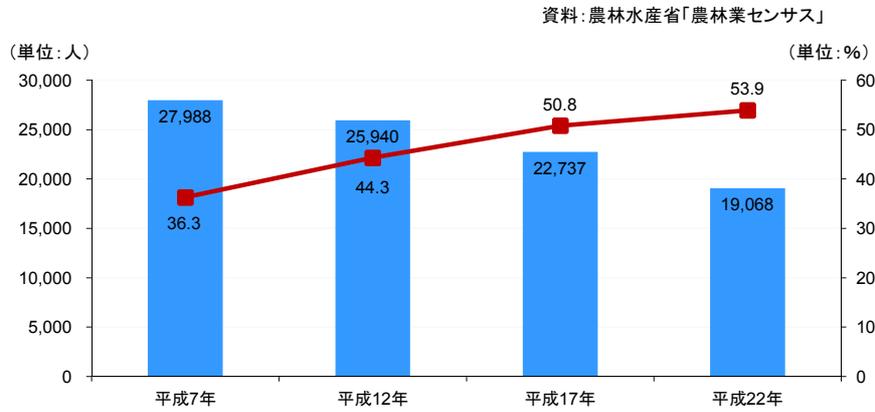
(単位:百t) 資料:作況調査(H24)



本市の水稻収穫量は146,600tで、全国の市町村中第1位となっている。第2位は秋田県大仙市の77,800t、第3位は新潟県長岡市で、66,400tと続いている。

### 13. 農業

#### 本市の農業就業人口と65歳以上比率の推移

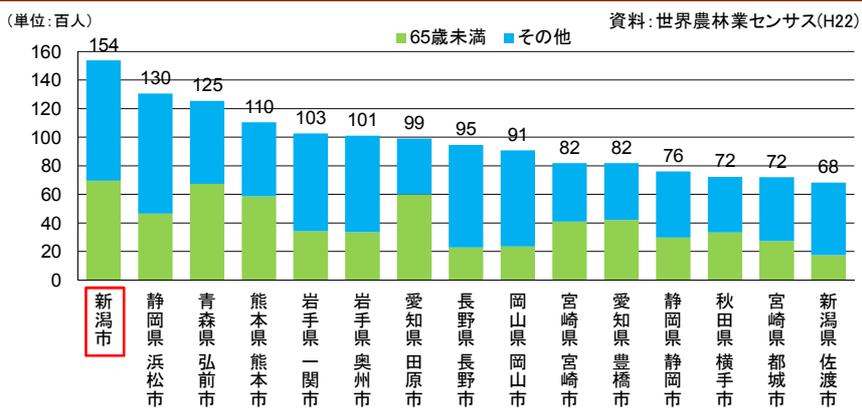


※農業就業人口：自営農業に主として従事した世帯員数

農林業センサスによる本市の農業就業人口は平成7年調査以降減少し続けており、平成22年調査では19,068人で、前回(平成17年)より3,669人減少した。また、65歳以上比率は平成7年調査以降増加し続けており、前回より3.1ポイント増加した。

### 13. 農業

#### 本市の基幹的農業従事者数(他都市比較)



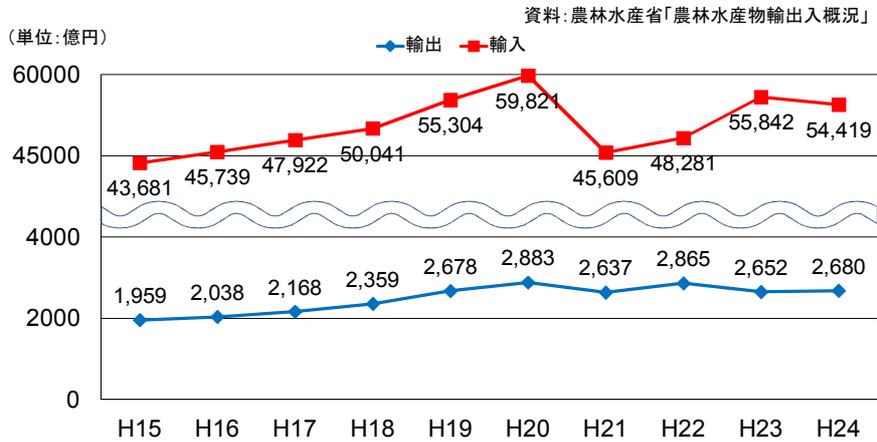
※基幹的農業従事者数：自営農業に主として従事した世帯員のうち、仕事が主の世帯員数

本市の基幹的農業従事者数は約15,400人で全国第1位となっている。  
なお、本市の65歳未満の基幹的農業従事者の割合は45.2%を占めている。

# 13. 農業



## 日本における農産物の輸出入推移

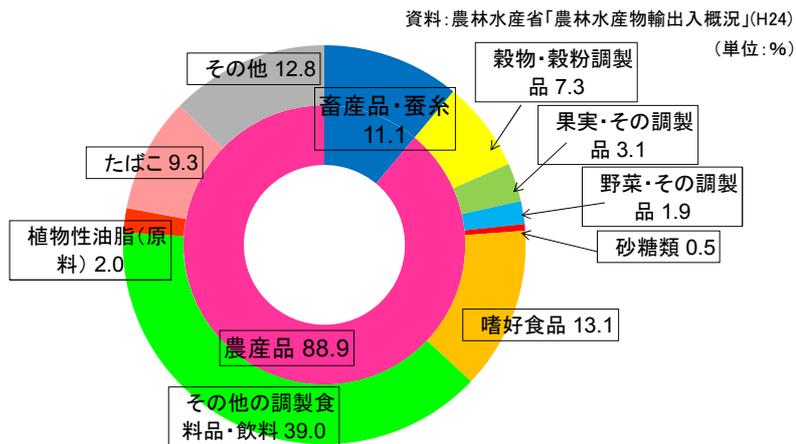


日本の農産物の輸出入状況は、輸出入ともに平成20年度まで増加していたが、平成21年度に減少。平成22年度以降増加傾向にある。平成24年度の輸入額は5兆4,419億円、輸出額は2,680億円。

# 13. 農業



## 日本における農産物の輸出品目別割合

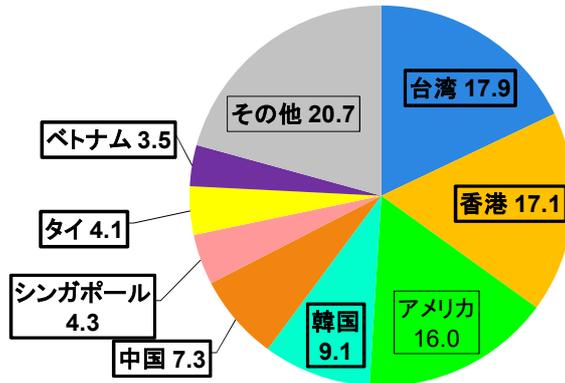


日本の農産物の輸出品目は、その他の調製食料品・飲料が最も多く39.0%、嗜好食品、畜産品・蚕糸、たばこ、穀物・穀粉調整品と続いている。

### 13. 農業

## 日本における農産物輸出額の国別割合

資料：農林水産省「農林水産物輸出入概況」(H24)  
(単位：%)



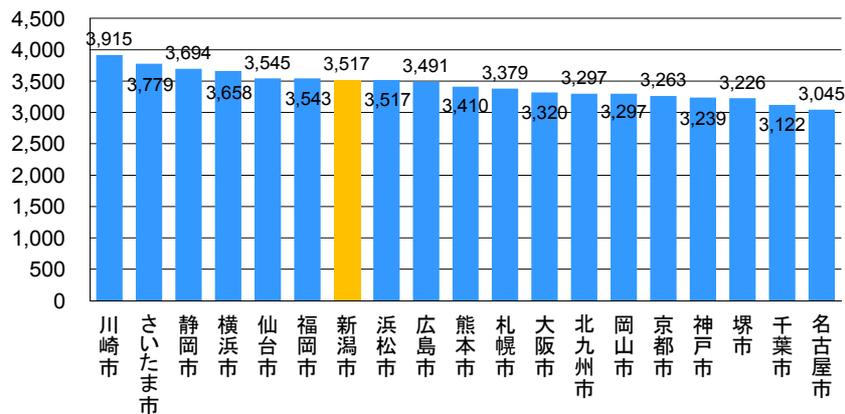
日本の農産物の輸出額の国別割合は、台湾が17.9%で最も多くなっている。アジア諸国(台湾、香港、韓国、中国、シンガポール、タイ、ベトナム)への輸出額の割合が全体の63.3%を占めている。

### 14. 消費

## 政令市別 年間消費支出額

(単位：千円)

資料：家計調査(二人以上の世帯)(H24)



本市の2人以上の世帯の年間消費支出額は351万7千円で、政令市中第7位となっている。第1位は川崎市で391万5千円、第2位はさいたま市で377万9千円と続いている。